

事業者排出量削減計画書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更					
(宛先) 京都市長		平成23年9月27日					
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601		氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) 学校法人同志社 理事長 野本真也  電話 075-251-3006					
主たる業種	学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学)		細分類番号 8   1   6   1				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> ア 京都市地球温暖化対策条例第2条第1項第6号 <input type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ						
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで						
基本方針	各校の実態を把握し、各校のレベルに応じた計画を執行していく。中でも使用量の多い大学と女子大学を中心に削減計画を積極的に推進し、法人全体として3%以上のCO <sub>2</sub> 削減を目指す。						
計画を推進するための体制	省エネルギー推進委員会、省エネルギー推進専門部会						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度(22)年度	第1年度(23)年度	第2年度(24)年度	第3年度(25)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	9,769.3 トン	9,466.5 トン	9,466.5 トン	9,466.5 トン	-3.1 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	9,769.3 トン	9,466.5 トン	9,466.5 トン	9,466.5 トン	-3.1 パーセント	
目標の根拠		冷房温度28℃の徹底、照明点灯時間の短縮等の運用面の努力と省エネルギー型の機器への転換を進める。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度(22)年度	第1年度(23)年度	第2年度(24)年度	第3年度(25)年度	増減率
	学校	事業活動に伴う排出の量(243,436.56㎡×1/10000)	401.31	388.87	388.87	388.87	-3.09 パーセント
		事業活動に伴う排出の量( )					パーセント
原単位の指標及び目標の根拠		原単位は施設の延床面積当たりの排出量を採用。排出量を上記の通り削減することにより、原単位の低下を目標とする。					
重点的に実施する取組の実施計画		基準年度(22)年度	第1年度(23)年度	第2年度(24)年度	第3年度(25)年度	備考	
		13.0 トン	46.0 トン	53.0 トン	100.0 トン		
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	冷房・暖房の設定温度の徹底					
	(24)年度	照明の消灯管理の徹底					
	(25)年度	照明器具を高効率型に更新					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施しようとする措置	措置の内容	同志社大学今出川校地の職員駐車場を廃止					
	上記の措置を採用する理由	マイカー通勤の抑制を図るため					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減する量	区分	第1年度(23)年度	第2年度(24)年度	第3年度(25)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	トン	トン	トン			
	地域産木材の利用によるもの	トン	トン	トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	トン	トン	トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	トン	トン	トン			
	温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの	トン	トン	トン			
合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動							
特記事項	平成22年度に施設の総床面積が増加しているため、基準年度を平成22年度とする。						

注1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。  
 注2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。  
 注3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。  
 注4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。